

イノベーションが躍動する国を目指して

2024年7月30日

日本製薬工業協会

上野 裕明

医薬品産業が今後も日本の基幹産業であり続けるために



国家戦略としての創薬力強化の議論を契機とした
イノベーション重視の流れの継続が鍵

創薬力強化に向けた製薬業界の取り組み

業界として

創薬を推進する上で、共通的な課題への対応

個社として

各社戦略に基づくオープンイノベーション活動

日本製薬工業協会としての取り組み

持続的なイノベーション創出へ向けた、非競争領域での協奏



- 産学官連携 アカデミアの強みを生かせる産学コンソーシアム（産学連携創薬推進協議会）等
- 産業視点の導入 アカデミア研究へ企業研究者の知恵・経験を入れる仕組み（AMED-FLuX）等
- 人材育成 生物統計家、バイオ医薬品製造人材（BCRET）等



イノベーション推進のための提言・提案

- 薬価制度・薬事制度 2024年度薬価制度改革、薬事検討会※1等
- 創薬力強化・産業政策 創薬力構想会議※2、健康・医療戦略推進本部会議体等

日本の創薬力を強化する施策について、“医薬品開発の特徴を踏まえた視点”
“各施策の実効性を高めるための視点”をもって議論を深めることに期待

一貫性

継続性

統合

医薬品開発の特徴

・施策の一貫性・継続性が必要

基礎研究

非臨床

治験

薬事申請

保険収載

医薬品

長い研究開発期間 約9～16年

低い成功確率 治験入りから約10%*

*治験開始品目が薬事承認を経て医薬品となる確率

各省の医薬品開発支援

・省庁縦割りを排し統合的に活用
・複数年度にまたがる予算活用

文

経

厚

基礎研究

医薬品

グローバル競争力強化に向け、製薬業界として具体的な提案を行う